

令和7年度熊取町社会福祉協議会

事業計画及び令和7年度予算書

社会福祉法人熊取町社会福祉協議会

令和7年度事業計画

【基本理念】

本事業計画の基本理念は、第5次熊取町地域福祉計画・地域福祉活動計画の基本理念である「みんなが主役！笑顔と希望を広げるまち」とします。

この基本理念は、熊取町に関わる全ての人が、年齢や性別、障がいの有無、所属などに関係なく、主役として・当事者として、共に支えあい生涯を通じて活躍できるまちをつくろうという思いを込めたものです。住民・町・事業者など様々な主体が、それぞれの個性や専門性、知識や資源などを活かし「みんなが主役！笑顔と希望を広げるまち」をつくろうというものです。

【基本方針】

熊取町社会福祉協議会は、住民が主体的に生活課題を解決できる組織・体制づくりを進めるとともに、地域福祉を推進する中核団体として活動します。さらに、近年の地域課題解決のために「地域共生社会」の実現が謳われています。他人事を「我が事」のように考え、地域の課題を「丸ごと」受け止めることができる地域づくりを進めていかなければなりません。

地域福祉の推進や地域全体で解決に取り組む意識の醸成は中長期に亘って、その活動が求められるものです。そして、あらゆる世代の住民が、身近な地域での「つながり」の大切さを実感し、地域の課題を自分自身の課題として捉え、地域福祉についての普及・啓発や実践、具体的な福祉活動を経験する機会を増やしていくことが肝要です。さらに、重層的支援体制整備事業の実施に向けた取り組みも重要です。

【令和7年度の主な事業】

●多様な世代が支え合う地域における活動支援を推進します。

地域において住民同士による支え合いや助け合いは、高齢者のみならず、障がいのある人、子育て中の親子等、全ての住民にとって暮らしやすい地域につながるものです。

地域での見守り、声かけ訪問活動などの「個別支援活動」やいきいきサロン活動などの「グループ支援活動」など、小地域ネットワーク活動を実施する校区・地区福祉委員会やボランティア団体等へ支援し、地域全般にネットワークのサービスが広がっていくよう進めます。

令和7年度は、校区・地区福祉委員会やボランティア連絡会と連携し、より多くの世代・住民がふれあう機会、場づくりを進め、顔の見える関係性の構築し、支え合う活動を進めます。

●みんなで支え合うための地域づくりを推進していきます。

熊取町では、地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制構築に取り組んでいます。その中で地域の様々な相談の受け止め・地域づくりや多機関の協働によるネットワーク構築会議や支援会議を展開してきています。

住民同士が気にかかけあう関係性を育むための「地域づくりへの支援」を重視し、支援者による相談支援と両輪で地域のセーフティネットを充実させます。

●どんな困り事も相談できて、支援につながります。

熊取町では、住民の様々な生活課題や不安に対応するため本会をはじめ、地域包括支援センター、委託相談支援事業所、子育て世代包括支援センター、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)など多様な相談窓口が設置されています。今後は、住民が気楽に相談できるとともに、適切なアドバイスや支援につなぐことができるよう、相談体制の充実が望まれています。

本会では、総合相談をはじめとする各種相談事業をより一層充実させていきます。

●熊取いきいきセンターを誰もが気軽に集える拠点にします。

熊取いきいきセンター(熊取町立老人福祉センター)は、子どもや高齢者、障がいのある人など、誰もが気軽に集まれる拠点です。

お互いが支え合って地域で安心して暮らしてゆくために、熊取いきいきセンターを集いの場所として活用できるよう快適に過ごせるための空間づくりに取り組みます。

1. 法人運営事業サービス区分 【当初予算 46,941千円】		
人件費支出 33,060千円		
助成金支出 9,538千円 他		
適切な法人運営や事業運営を行うとともに、年々拡大・深化する業務に対処するため事業の再編等検討を行います。		
定例理事会の開催		年6回
定例評議員会の開催		年2回
評議員選任・解任委員会の開催		年1回以上
事業会計監査の実施		年1回
組織構成会員会議・研修の開催		年1回
職員研修		随時
職員会議		毎月開催
熊取町生活福祉課との定例会		月1回 他必要に応じ開催
役職員校区委員長研修会の開催		年1回
各種関係機関・団体との連携		随時

2. ボランティア活動推進事業サービス区分 【当初予算 98千円】		
諸謝金 40千円		
通信運搬費支出 21千円 他		
ボランティア活動の総合的な窓口として、ボランティア活動希望者の受入や、ボランティア依頼者とのマッチングを行うとともに、ボランティアの発掘・育成・援助を行うとともに、ボランティアに関する情報提供を行い、ボランティア活動の普及啓発を行います。		
・ボランティアセンターの運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア相談の実施 ・ボランティア登録の受付 ・ボランティア希望者の登録受付 ・ボランティア保険受付 ・ボランティア体験プログラムの実施 ・ボランティア講座の企画実施 	通年 通年 通年 随時 7月～8月 随時
・ボランティア連絡会への活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・総会開催 ・役員会、代表者会議開催 ・ボランティアフェスティバル開催 ・その他事業支援 	年1回 年6回 年1回 随時
・災害ボランティア関係	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア登録 ・災害ボランティア交流会の実施 ・災害、防災に関する研修会の実施 ・災害ボランティアセンター運営シミュレーション ・被災時における各種状況の見える化 e コミュニティーの活用 	随時 年1回 年1回 年2回 通年

<p>3. 校区福祉委員会活動推進事業サービス区分 【当初予算 2,535 千円】 助成金支出 2,500 千円 他</p>		
<p>4. 小地域ネットワーク活動推進事業サービス区分 【当初予算 3,909 千円】 助成金支出 1,181 千円 広報費支出 738 千円 他</p>		
<p>各校区・地区福祉委員会の「ふれあいの集い」や「サロン活動」や見守り安否確認などを通じて、地域でのつながりを深め、高齢者、障がい（児）者、子育て中の親子、小・中学生などが、安心して住み慣れた地域で生活できるよう、支え合い・助け合う地域づくりの支援を行います。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉委員会活動説明会・実践報告会の開催 ・校区福祉委員会委員長会議の開催 ・小地域ネットワーク活動推進委員会の開催 ・小地域ネットワーク活動リーダー研修会 ・小地域ネットワーク活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・39 地区福祉委員会委員等への説明会 ・社協及び5校区福祉委員長との情報共有・情報交換 ・社協・民児協・校区委員長・行政による情報共有会議 ・府社協主催の研修会への参加 ・グループ援助活動 ふれあいの集い（世代間交流事業） ふれあい会食会 いきいきサロン 子育てサロン おとなと子どもの地域あいさつ運動 ・個別支援活動 声掛け見守り活動 ・レクリエーション資器材の貸出 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回 年2回 年2回 年1回 随時 随時 通年 通年 年1回
<ul style="list-style-type: none"> ・熊取町第5次地域福祉活動計画の推進 ・熊取町第5次地域福祉活動計画策定委員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次計画に基づく事業の実施及び進捗管理 ・策定委員会において、計画の進捗状況の評価を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 通年 年1回

5. 在宅福祉活動推進事業サービス区分 【当初予算 1,060千円】 諸謝金支出 538千円 消耗器具備品費支出 141千円 他		
熊取町内における在宅福祉を行うため以下の事業を実施します。		
<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子貸出事業 ・総合相談 ・楽しく生きる知恵探し 【町受託事業】 	<ul style="list-style-type: none"> ・一時的短期的に車椅子が必要な方を対象に最長1ヶ月貸出 ・町内在住の方からの相談があった場合に職員が相談対応 ・閉じこもり、認知症予防のための講座を1クール10回、年3回開催 	<ul style="list-style-type: none"> 通年 随時 年30回

6. 善意銀行事業サービス区分 【当初予算 700千円】 消耗器具備品費支出 300千円 当事者支給金品費支出 200千円 他		
広く善意の金銭・物品等預託の受入を行い、必要に応じて払出しを行います。また、活動拠点となる老人福祉センターを多世代の利用者が活用し快適に過ごせるように、備品整備を行います。		
<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者緊急食糧支援事業 ・災害時における災害ボランティアセンター活動費 ・老人福祉センター備品購入 	<ul style="list-style-type: none"> ・諸事情により一時的に困窮した方への食糧等支給（最長1週間程度分） ・町内が被災し、災害ボランティアセンターを立ち上げた際の一時的運営費用 ・利用者が快適に過ごせる環境を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 随時 災害発生時 随時

7. 共同募金配分金事業サービス区分 【当初予算 6, 192千円】
 広報費支出 1,272千円
 助成金支出 788千円 他

毎年10月から実施の赤い羽根共同募金配分金を財源とし、高齢者対策事業、障がい児者対策事業、児童青少年対策事業、ボランティア活動育成事業、福祉育成援助活動の5項目に分類し事業を実施します。

<p>高齢者対策事業 ・外出支援サービス（行こうCar）</p>	<p>・町内在住の要支援1・2の方と75歳以上の方のみの世帯で、公共交通機関の利用が困難で且、家族等の支援が受けることができない方を対象に、外出支援を実施</p>	<p>通年 （年末・年始祝日を除く月～金1日4便運行）</p>
<p>障がい児・者対策事業 ・障がいのある児童のレクリエーション ・手話ステップアップ講座</p>	<p>・障がいのある児童のレクリエーションを開催 ・手話入門基礎講座を修了された方を対象としたステップアップ講座</p>	<p>年1回 年1回(全38回連続講座)</p>
<p>・点字図書の作成</p>	<p>・町広報紙、社協発行機関紙の点字版作成・ボランティアグループによる点字本を作成し、必要な方に送付及び図書館等に設置</p>	<p>通年</p>
<p>・音訳CDの作成</p>	<p>・町広報紙、社協くまどりの音訳CDを作成し必要な方に送付及び図書館に設置</p>	<p>通年</p>
<p>児童・青少年対策事業 ・福祉教育の推進を支援</p>	<p>・福祉教育協力校連絡会議 ・福祉教育協力校への助成</p>	<p>年1回 年1回</p>
<p>・児童生徒見守りパトロール</p>	<p>・8の日に安全パトロールを実施</p>	<p>通年</p>
<p>・中学生による弁論大会への協力</p>	<p>・夏休み期間中に開催される社明弁論大会で発表の弁士に記念品を贈呈</p>	<p>年1回</p>
<p>・児童体験講座</p>	<p>・児童を対象とした体験講座を開催 ニュースポーツ体験、認知症フレンドリーキッズ授業等</p>	<p>年2回</p>

<p>ボランティア活動育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>ボランティア入門講座</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア活動のきっかけづくりの講座 	<p><u>年2回</u></p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 傾聴ボランティア講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の話を聴き心に寄り添う傾聴ボランティア育成の為の講座 	<p>年1回</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害ボランティア講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害、防災の知識を深めていただく為の講座を開催 	<p>年1回</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>生活支援ボランティア講座</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常のちょっとした困りごとに手助け頂ける人材育成講座 	<p><u>年2回</u></p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア活動推進助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア連絡会及びボランティア連絡会登録グループへの活動助成 	
<p>福祉育成援助活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ くまとり社協だより発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社協、福祉委員会活動、ボランティア活動また福祉関連情報発信として機関紙を発行 	<p>年6回</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社協ホームページ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページのリニューアル及び情報発信の強化 	<p>随時更新</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 心配ごと相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内にお住まいの方のための心配ごと相談所を開設【予約制】 	<p>毎月第3火曜日</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護者支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熊取町介護者(家族)の会発行の機関紙「介護者だより」発行支援 	<p>年3回</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉まつりの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民文化祭に合わせ福祉まつりを開催 	<p>年1回</p>

8. 福祉サービス利用支援事業サービス区分 【当初予算 6,711千円】 人件費支出 5,542千円 通信運搬費支出 155千円 他		
認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などの方で、自分一人で手続きなどをするのが不安な方。お金の出し入れや公共料金の支払いなどでお困りの方を日常生活自立支援事業で支援を行います。		
・福祉サービス利用支援	・サービスの説明や申込手続きのお手伝いします。	通年
・日常金銭管理サービス	・日常の生活費にかかる金銭管理のお手伝いします。	通年
・貸金庫サービス	・保険証券や実印など大切な書類を貸金庫で預かります。	通年

9. 資金貸付事業サービス区分 【当初予算 2,905千円】 人件費支出 1,591千円 通信運搬費支出 157千円 他		
低所得者・障がい者または高齢者の世帯を対象とした大阪府生活福祉資金の相談・申請窓口を開設するとともに、相談者の自立に向けCSW、はーと・ほっと相談室との連携を強化します。		
・総合支援資金	・生活支援費・住宅入居費・一時生活再建費	通年
・福祉資金	・福祉費 ・緊急小口資金	
・教育支援資金	・教育支援費 ・就学支度費	
・不動産担保型生活資金	・不動産担保型生活資金 ・要保護世帯向け不動産担保型生活資金	
・緊急小口資金等の特例貸付におけるフォローアップ支援	・特例貸付の債権者に対する償還猶予や償還免除に関する相談対応	

10. 手話講座受託事業サービス区分 【当初予算 451千円】 諸謝金支出 451千円		
障がい者への理解と手話の普及を図る為に、初めて手話を学びたい方を対象に、手話講座入門基礎編を町から受託し開講		
手話講座（入門基礎編）	5月から年間41回の連続講座により、閉校式（最終日）には一年間で学んだ手話で自己紹介や思いなどを手話で披露。 受講者を終えた方には、ステップアップ講座や手話サークルを紹介し、手話の普及を図っている。	年1回

11. 点訳講座受託事業サービス区分 【当初予算 173千円】 諸謝金支出 165千円 消耗器具備品費支出 6千円 他		
広報や各種発行物の点訳版を継続的に発行ができるように、点訳講座を町から受託し開講。講座修了生には点訳サークルの紹介を行い、ボランティア活動への参加を呼び掛けています。		
点訳講座（入門基礎編）	6月から全15回の連続講座	年1回

12. 家族介護者支援事業受託事業サービス区分 【当初予算 350千円】 賃借料 217千円 諸謝金支出 30千円 他		
家族等を介護されている方を対象に身体的・精神的負担の軽減を図ることを目的に、介護から一時的に開放し簡易な旅行や施設見学等介護者同士の交流の場をつくり、心身の健康維持を図ります。		
家族介護者健康教室	介護や健康に関する講座を開催	年1回
家族介護者リフレッシュ事業	日帰り旅行を企画実施	年2回

1 3. 地域相談受止・地域づくり受託事業【当初予算 9, 286千円】 人件費支出 8,148千円 諸謝金支出 181千円 他		
地域住民の地域活動への参加を促進する環境整備や、住民の身近な場所や地域において、分野を超えて地域生活課題について総合的に相談に応じ、多機関と協働し、複合化した地域生活課題の解決するための体制など「地域共生社会」の実現に向けての地域づくり・包括的な支援体制整備を図るとともに、誰もが役割を持ちお互いに支え合っていることができる「地域共生社会の実現」をめざします。		
・地域相談受け止め・地域づくり事業 ・ひきこもり支援	・地域づくり支援（地域の課題発見と解決に向けての座談会等） ・地域への出張相談（アウトリーチ） ・各関係機関との課題解決に向けた情報共有 ・専用回線によるひきこもり相談 ・定期的な居場所の開設 ・ひきこもりに関する講演会 ・ひきこもり家族のお茶会の開催 ・ボランティアグループが実施の「きまぐれカフェ」への支援	通年 随時 毎月第1金曜 年1回 年2回 毎月第2・4金曜
・いつまでも元気でいきいき講座（さくら会）	・65歳以上のひとり暮らし高齢者を対象とした居場所を開設	通年（8月を除く毎月第4木曜日）

1 4. 老人福祉センター指定管理事業サービス区分【当初予算 3, 500千円】 業務委託費支出 2,100千円 水道光熱費支出 1,080千円 他		
熊取町内在住の60歳以上の方に対して、各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与することにより、心身の健康を保持するとともに、健康寿命の延伸を図ります。		
・熊取町立老人福祉センター管理運営	・老人福祉センター管理運営 ・ヘルストロン、マッサージ機の無料開放 ・貸館業務 ・熊取タピオ元気体操	随時 随時 月2回

15. 積立金等活用事業サービス区分【当初予算 5,209千円】 消耗器具備品費支出 1,018千円 諸謝金支出 805千円 他	
本会の繰越金及び取崩し額上限を設けて財政調整積立金取崩しを行った資金を財源とし、令和7年度は以下の事業を実施します。	
居場所づくり事業 資機材の作成・購入 ホームページのリニューアル	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽介護予防教室や仮称井戸端サロン、スマホ講座など、多世代また属性を問わない参加支援の場を設置する。 ・福祉教育用資材、レクリエーション資材、見守り支援活動の補助資材、緊急医療キット等の作成・購入 ・ホームページの新規作成、SNSの活用

団体事務局	
本会では、以下の団体事務局を担っています。	
<ul style="list-style-type: none"> ・熊取地区募金会 (赤い羽根共同募金運動の推進) ・熊取町介護者(家族)の会 ・熊取町地域福祉団体連絡会 (定例会議・臨時会議) ・社会福祉施設等地域貢献委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊取町、自治会連合会、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会で構成する共同募金の推進団体 ・認知症の家族等を介護中又は看取った方などの当事者団体 ・町内の社会福祉施設、各種関係団体で構成された連絡会 ・町内の社会福祉法人、医療法人、社会医療法人が運営する施設により組織され、専門性を生かし、地域に貢献するための委員会

その他

各種関係機関の委員会への参画

会長

- ・熊取町公平委員会委員
- ・民生委員推薦委員
- ・障害者施策推進委員会
- ・熊取町防災会議委員及び国民保護協議会
- ・熊取町地域福祉活動計画策定委員会
- ・高齢者保健福祉推進委員会
- ・保健対策推進協議会
- ・自立支援協議会
- ・熊取町子ども・子育て会議
- ・熊取町人権擁護審議会委員
- ・熊取町青少年問題協議会委員
- ・くまとり地域教育協議会連絡会
- ・熊取町公共交通協議会委員
- ・大阪府共同募金会評議員会
- ・泉佐野保護区推進委員会
- ・社会福祉法人永楽福祉会評議員

事務局長

- ・熊取町献血推進協議会
- ・生活支援・介護予防サービス協議会
- ・泉佐野所生活保護受給者等就労自立促進協議会
- ・社会福祉法人和光福祉会評議員

職員

- ・生活支援・介護予防サービス協議体
- ・泉南地域介護人材確保連絡会